



2012年、経営指標に直結するITを実現。

欧州に端を発する金融不安への対処、顧客起点へのプロセス変革、ビッグデータの活用。
IBMは、この3つの経営課題に、ITで明確な答えを出します。

金融不安などのリスクに備えたバランスシートの改善をITでご支援します。

欧州ソブリンリスクに代表される金融不安や、予期せぬ自然災害などによる収益悪化のリスクに備えるため、圧倒的なコスト削減と生産性向上が不可欠です。必要なのは、かつて成長期に投資され今や経営の大きな負担となっている企業資産を自社のバランスシートから外すこと。IBMは、ITを駆使したアウトソーシングやビジネス・プロセス変革の支援により、バックオフィス改革を中心とするホワイトカラーの生産性を向上。大幅なコスト削減と、それによる成長分野への投資を可能にすることで、身軽な経営体質への変革を支援。環境変化に強い高収益な経営体質を実現します。ITは、経営の根幹に直接大きな効果をもたらすのです。

顧客構造を可視化し、顧客起点へのプロセス変革をご支援します。

市場環境は、過去の経験だけでは太刀打ちできないほど大きく変化しています。右肩上がりの経済を前提にした2割の顧客から8割の売上を得る収益モデルが崩壊した現在、接点のなかった顧客層まで市場を広げ、新たな成長モデルを構築する必要があります。同時にソーシャル・メディアでつながった「個客」は、仮想的な一大顧客セグメントへと変貌し、その要望や期待に応えなければ、いわゆるロングテール・マーケットでは企業は生き残ることができません。さらに先進国市場の消費が著しく低迷する今日、ますます購買意欲が高まりつつある中間層が存在する新興国を自社の参入すべき市場と認識することは必須です。顧客の要求を起点に社内プロセスや製品価値を大幅に見直すことが、今や企業には必要不可欠です。IBMは、変化し続ける顧客起点でのプロセス変革に対応するため、統廃合による業務の体系化と柔軟性をもつITをご提供します。

ITを取り巻く環境が大きく変わり、経営に密接に結びつきます。

世界の20億人がWebにアクセスし、RFIDタグが100億個を超え、Facebookだけで1日に朝刊2万6千年分に相当するデータ量(10テラバイト*)が処理されるなど、私たちの

周りのデータ量は日々爆発的に増えています。そして、それらが相互につながることで、さらに膨大なデータとなり、その中に経営に対する統計学的示唆があります。

ビッグデータの活用で、経営者は自らの経験を上回る知見が手に入ります。

不確実性の時代では、経営者の経験と勘による判断はますます重要になります。IBMは、最新テクノロジーにより、統計の精度が依存するサンプリングの規模を圧倒的に拡大し、そこから生まれる高精度の予測モデルとシミュレーションは、経営判断の精度も飛躍的に向上させます。コンピューター処理され蓄積された「構造化データ」に加え、気象や交通、音声や画像、センサー・デバイスから自動生成される膨大なデータ、さらにはソーシャル・メディア上のつぶやきや書き込みなど、コンピューターが認識不可能だった「非構造化データ」を解読可能な情報とすることで、現状分析と未来予測の精度が大幅に向上します。クラウドやストリーム・コンピューティングの活用で、巨額のITコストと多大な時間を要し、国家規模の大プロジェクトでのみ活用可能だったビッグデータを一般企業で活用することを、ライバル企業の多くは、すでに活用を始め、具体的な成果を得ています。

すでにビッグデータが、経営の力になっています。

リスクヘッジのコストは、可視化されることで利益に転じます。あるクレジットカード会社は、日々840テラバイトに及ぶ過去7年分の認証ログの分析で、不正パターン検知の精度を飛躍的に向上させ、カード取引の不正の検知・予防により年間約800億円のコスト削減に成功。MIT Sloan Management ReviewとIBMの共同調査によると、ビジネスに高度な分析を活用している企業は同業他社の業績を上回る傾向が2.2倍高くなっています。

経営に具体的に直結するITを実現します。

IBMは、お客様のデータを経営指標に直結させ、高い競争力を勝ち取る手段に変えます。日本での75年の実績と経験で、お客様の経営に新しい解決策をご提供します。

おかげさまで、日本IBM創立75周年。

地球を、より賢く、よりスマートに。

詳しくは で検索してください。

